

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・長音や拗音、促音や助詞を正しく使って書くこと。 ・音読を通して、文章を丁寧に読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く機会を多く設ける。ノート指導を確実にし、知識を定着させる。 ・「一人で読む」、「みんなで読む」、「役割を分担して読む」など音読の仕方を工夫し、読むことの楽しさを味わわせる。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数の構成について理解すること。 ・文章問題の内容を理解して、式に表すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはじき、ブロック「パタパタタイル」などの具体物を使って実際に操作させる。「いくつといくつ」の学習を加減の計算に生かせるよう、習熟を図る。 ・文章問題の内容理解に、具体物を操作する活動や絵や図に表す活動を通して、考えさせる。 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫して活動し、体験した中での気づきを表現すること。 ・タブレット端末などを活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化や動植物の様子など、見たこと・感じたことを絵や文を使って表現できるようにする。 ・タブレット端末の活用を多く取り入れ、表現の幅を広げる。 ・児童の工夫を取り上げ全体の場で交流させ、考えを広げられるようにする。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを避ける児童がいること。 ・全ての児童が参加できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで体を動かすことで理解を深めるための基礎を身に付ける。 ・音楽に合わせた身体表現の学習の中でダイナミックな動きと、簡単な動きを組み合わせ、どの子も参加できるように工夫する。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って活動すること。 ・作品を最後まで丁寧に完成させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみやのりの使い方、紙を折るなど、指先を使った作業を毎回丁寧に説明し、随時個別指導をしていく。 ・丁寧な作品を紹介したり、途中経過を見せ合っ感想を交流したりすることで、丁寧に制作する意欲を高める。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を素早くすること。 ・基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習の流れを明確にし、活動に見通しをもって活動させる。 ・スモールステップで段階的に取り組む活動を設定し、基本的な動きを身に付けさせる。 ・毎時間、十分な運動量を確保し、体力の向上に努める。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の書き方等を身に付けること。(句読点、拗音、長音) 漢字を正しく書くこと。 語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く機会を定期的に作り、自分や友達と見直す時間の設定をするなど継続指導する。 語彙の不足を補うために、体験的活動を充実させ、動作化などの場面を取り入れていく。 読書活動を充実させ、美しい日本語に触れる機会を増やしていく。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのたし算、繰り下がりの引き算、かけ算九九などの計算を正確に行うこと。 数について授業や算数的活動を通して数の概念の定着を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業では、必要な内容に焦点化して教える。復習や家庭学習等で継続的な取組を行う。 図や、具体物を使用し、数を視覚的にとらえさせる。復習や家庭学習等で継続的な取組を行うとともに家庭での協力を呼び掛ける。 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> 作りたいおもちゃや、行きたい町の場所など、自分のやりたい課題を、自分で見付け、取り組めるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がやりたいと思えるような課題の選択肢を作成し、児童がやりたいことを決めたり、友達と協働で活動したりする学習過程を設定する。 知りたい情報の資料を集めるためのスキルを身に付ける場を設定する。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音程を理解したり、お互いの声や、伴奏を聴いて合わせたりすること。 楽しみながら音楽に親しめるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 模奏・唱、友達の演奏をよく聴くように声をかけ、音や声、伴奏に合わせることを意識させる。 手遊びや昔遊びに触れる場を設定する。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動がより深まるよう、発想を広げていくこと。 様々な材料から創造できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 発想を共有する時間を設定し、友達の工夫を自分の作品に生かすことが出来るようにする。 主材料の他に様々な材料を用意して、材料から発想して工夫できるようにする。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に興味をもたせ、うまくできる方法を考え、自分なりのコツをつかむこと。 技能の向上が図れるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを使用し、遊びのポイントを共有したり、児童同士で評価し合ったりする。 めあてや自己評価・めあてに沿った振り返りが適切に行えるよう焦点化する。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にイメージしながら語彙を増やすこと。 ・友達と意見や考えを交流する中で、共通点や相違点を見付けること。 ・事実を順序立てて書き、表現を工夫した文章を書くこと。 ・様々な本を読み、読書の世界を広げ、自立した読書につなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書引き学習、新出漢字を使った言葉の使い方、読み取った文章の動作化を通して、基本となる語彙を増やしていく。 ・意見を交流する中で、相手の考えを聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・話の中心をはっきりさせ、構成メモを工夫して順序立てて書くことができるようにする。 ・ブックトーク、アニメーションなどの多様な読書活動を取り入れ、調べ学習の仕方を指導し、幅広い読書ができるようにする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取ったり、調べたりしながら府中市の様子や人々の暮らしについて理解すること。 ・学習して分かったことや考えをまとめて書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の様々な地図を活用し、地図の見方に慣れ親しませる。また、資料を提示し、気付いたことを交流させながら読み取る力を養う。 ・学んだことや調べたことをまとめ、自分の考えを書くことができるようにする。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法や除法、3位数の加・減法の計算を正しく行い、量の単位などを理解、定着させること。 ・文章で問われていることを正しく理解したり、導き出したことを正しく表現したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル・プリント等を活用しながら繰り返し課題に取り組み、知識及び技能の定着を図る。必要に応じて、数の合成分解、乗法九九などの基礎的な計算を個別に指導する。 ・文章を読み、線分図などを活用して何を問われているかを理解し、解決する。解決したことを図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりする機会を繰り返し設定する。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫や植物の観察・自然の事物の実験を行い、知識・理解の定着を図ること。 ・予想を立て、実験・観察から明確になったことを基に、結果、考察をノートにまとめながら書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ身の回りの自然観察・実験の機会を多くし、日常生活と結び付けて考える場面を設け、知識の定着を図る。 ・観察の方法、結果、考察などの書き方を理解できるようにする。また、実験の方法や結果を具体的に考えることにより論理的な思考力を養う。自分の考えをまとめる活動を多く取り入れるようにする。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の奏法、音色に気を付けながら演奏をすること。 ・リコーダーなど、技能面で個人差が生まれやすいこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い音色の演奏を聴いたり体験したりして、楽器の特性を理解することで、自分も素敵な音で演奏したいという意欲を喚起する。 ・児童が課題をもち、解決できるようにスモールステップで、ゆっくり丁寧に指導に取り組む。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の制作だけでなく、友達の表し方に関心をもち、それを認めること。 ・自分の思いだけでなく、友達の作品を自身の作品に取り入れること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動の中に、友達の作品を鑑賞する時間を設ける。友達の作品の良さを言葉で伝える活動を取り入れる。 ・友達の良いところを自身の制作活動に取り入れるようにする。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けるとともに、めあてをもち運動や練習の仕方を工夫すること。 ・友達と教え合ったり関わったりして活動すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用したり、活動の中で段階的に運動を取り入れたりとすることで、基本的な動きや技能を身に付けさせる。場の設定を工夫して個々の課題を解決できるようにする。 ・友達との交流を通して、自分の課題を知るとともに、友達の良さを見付け、互いを高め合えるようにする。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読んだこと、聞いたことに対して、疑問や自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝えること。 ・ 既習の漢字を積極的に使って文章を書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと比較しながら話を聞き、差異点や共通点に目を向けて感想や質問を話せるようにする。 ・ 作文や新聞作りなどで漢字を使えるように、ドリルなどで反復学習を行ったり、見直したりする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ すでにもっている知識や経験と、授業で習った知識をつなぎ合わせて、考えを深めたり広めたりすること。 ・ 学習して分かったことや自分の考えをまとめて書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元や授業の冒頭でもっている知識や経験を話し合う機会を設ける。授業で分かったことを基に理由や予測をする活動に取り組ませる。 ・ 授業の最後に振り返りの時間を設定し、分かったことや自分の意見・考え等をまとめる。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な四則計算の筆算の定着や基本的な図形の作図をすること。 ・ 文章問題で問われている内容を理解し、学習した内容を応用できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算の習熟を図る課題に適宜取り組ませる。必要に応じて、数の感覚や空間認識を身に付けられるように個別に指導する。 ・ 内容を図解してから解く習慣を付けさせる。学習した内容を反復して練習することにより、他に生かす力を伸ばしていく。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けること。 ・ 学習や論理的に学びを進める方法を理解し、自分の考えをまとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題をもち解決する意図を理解した上で、観察、実験に取り組ませる。 ・ 活動を通して、結果・考察・まとめを説明（表現）したり、ノートなどにまとめたりできるようにする。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に取り組むことができるが、集中して話や音楽を聴くことができないこと。 ・ 理解力があるのに、知識・技能面で身に付くのに時間がかかること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞の学習も生かしながら、耳を傾けて聴く活動を多く取り入れる。 ・ 技能と知識をつなげることのできる活動を適宜取り入れ、意欲をもって取り組みながら力を付けていけるようにする。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形ができてきた作品を、さらに良くしていこうと、作品を深めたり良さを追求したりすること。 ・ 材料等のよさに気付き、その特長を生かすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の中に鑑賞の時間を取り入れ、他者の良いところを認め、吸収できるようにする。 ・ 材料や描画材の特徴や良さを知り、それを生かした表現ができる。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫すること。 ・ 自分の考えたことや課題を把握し、練習したり、友達に伝えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を活用し、自分の動きを客観的に見た上で、改善していく活動を取り入れさせる。 ・ 自分の感覚を確かめたり、友達とアドバイス合ったりすることで、自己の課題を見付け、課題を解決するために活動を工夫して取り組む。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 筋道立てて考えたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げること。 話し手の意図を考えて聞いたり、内容を正確に聞き取ったりすること。 筆者の考えに対する自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考ツール等を活用し、話の内容や考えが明確になるように事実と感想、意見とを区別しながら考えられるようにする。 ペアやグループで対話する機会を多く設け、話す力や伝える力・聞く力を高め、考えを深められるようにする。 作者等の意図を考えながら読みを深めるために、登場人物の相互関係や心情、場面について自分の考えをまとめる学習をさせ、読み取る力を高める。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 複数の情報を踏まえ、それを理解した上で多角的に捉えて考える力を養うこと。 興味・関心をもって学習するとともに社会に見られる課題を把握し、習得した知識や技能を活用して課題を解決すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 各々が資料から読み取った情報を全体で共有し、最後にポイントの確認と共に情報をもとに根拠を明らかにしながら自分の考えを表現させる。 課題をもち、その都度自力解決することで、知識の定着を図ったり、思考力を高めたりする。 学習した内容を日常生活に結び付け、社会事象への見方、考え方を養う。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 課題の内容を読み取り、順序立てて、解決方法を説明すること。 単分量あたりや、割合の意味を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考過程を図や式、表などで表し、演算決定への筋道とその計算過程を論理的に考え、説明できるようにする。 既習事項を生かし、丁寧に学習する習慣を養い、線分図などの活用により、全体と部分、単分量や割合に関する感覚を身に付けさせる。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察を行い、知識・理解の定着を図ること。 実験・観察から明確になったことを基に、考察すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の機会を多くし、内容を充実させ、日常生活に結び付けて考える場面を設け、知識の定着を図る。 予想、仮説、観察、実験の方法について段階的に指導し、考えたり自分の言葉で説明したりする場面を設けることにより、論理的に考える力を養う。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む意欲に個人差があること。 楽器で演奏に対して苦手意識をもっていること。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの活動を取り入れながら、お互いに高め合えるように配慮する。各自が役割を意識して活動ができるよう注意をして観察し、声をかける。 小さな課題を少しずつ与えながら、いろいろな楽器にも挑戦できるようにする。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 友達の表し方を認め、受け入れること。 友達と関わり合いながら制作すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動の中に、友達の作品を鑑賞する時間を作り、友達の制作した作品について、工夫を見付ける活動を取り入れる。良いところは自身の制作活動に取り入れられるようにする。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な経験の有無により、裁縫や調理の技能の定着を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から課題を見出して解決方法を考える場面を設け、家庭の仕事に興味・関心をもたせる。そして、実践的な活動を家庭や地域に生かせるようにする。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動きを理解し、その知識や技能を身に付けること。 関わり合いを通して取り組み方を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きのこつやポイントを共有し、明確にする。また目標をもって自分に合った練習に取り組み、スモールステップの中で段階的に身に付けることで達成感を味わわせる。 ペアやグループで学習活動を行い、児童同士積極的な関わりの中でアドバイスし合う場を設定し、よりよい動きを工夫できるようにする。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に発話しようとする。 積極的に対話し、英語での表現に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音や発話の正確さを求めるのではなく、楽しんで取り組める活動や課題を多く設定し、自然に英語の理解が高まるようにする。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 相手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 文章の構成を考えて書くこと。 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや発表の時間など、自分の考えと比較しながら聞き、伝え合う機会を多く設定する。 付箋を活用し、文章の構成を考える時間を確保する。また、感想や意見を共有する時間を設定する。 自分の意見や感想をもつ時間を確保する。その上で、違いやよさに気付けるようにする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、事実をとらえたり、考えをふくらませたりすること。 それぞれの時代の流れや事柄のつながりを考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料から読み取ったことをまとめたり、事象に関連することを見付けたり、比較したりする中で互いの気付きを伝え、考えを広げる学習を展開する。 前後の事柄との関連性を考えさせ、つながりを意識した授業を展開する。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 整数、小数、分数を適切に用いて、解決方法を考え、正しく計算できるようにすること。 課題解決の目的に適した図やグラフ、表にまとめ、調べること。 	<ul style="list-style-type: none"> 約分、通分の概念を理解したり、数の関係性を的確に捉えたりできるように、繰り返し復習する。また、必要に応じて個別に指導する場面を設け、自信をもって学習に向き合えるようにする。 図や表に表して解決する場면을日常的に設け、繰り返し取り組むことで、学習したことを生かそうとする姿勢を育て、立式したり、特徴を説明したりさせる。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して予想したり、結果をもとに考察したりすること。 根拠を明確にして発表すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、予想を立て、結果を整理し考察する学習を展開する。 発表する経験を計画的に積み重ねていくことで、言語活動の充実を図る。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 演奏を通して思いを表現し、自信をもって発表すること。 曲のつくりにも目を向けて演奏や表現に生かすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と合わせて表現する活動から、だんだん一人で表現できるようにする。また、少人数の前からみんなの前で表現するという経験を積み重ね表現することに慣れていくようにする。 音楽の構成を理解することで、曲の盛り上がりや特徴をとらえて起伏にとんだ表現をする機会をもたせる。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作りたいものに合った表し方を選択し、自分らしい表現ができること。 つくりたいものに合わせて、制作の仕方や技法を変えること。 	<ul style="list-style-type: none"> アイデアスケッチなどで制作の見通しをもたせ、表したいものに必要なものを考える時間を設定する。 さまざまな技法や表し方を丁寧に紹介して、自分に合った表現方法を選択できるようにする。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な経験から、裁縫や調理などの技能の定着に差が見られること。 よりよい家庭生活について具体的にイメージし、工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの工程を丁寧に説明しながら、段階を踏んで実習を進められるよう計画を工夫する。また、家庭でもできるような題材を設定し、家庭での実践につなげられるようにする。 授業で学んだ知識と体験を発信し、家庭生活に役立つことの喜びを味わえるようにする。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分のめあてに向けて活動の仕方を工夫すること。 見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさを味わえる工夫をするとともに、自己の課題に応じた場や練習の仕方を選択して取り組めるようにする。 コツやアドバイスを伝えるなど自分の考えを伝えたり、仲間の考えを理解したりすることで、技能の向上につなげられるようにする。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 文字の表記に慣れ、積極的に活動に取り組むこと。 積極的に発言をしてコミュニケーションをとること。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく文字を表示したり、文字自体を練習したりする活動を多く設定し、英語で表記することを重点的に指導する。 コミュニケーションをとる場面を多く設定していく。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。